

平成23年度 第2回 機械工業振興補助事業審査・評価委員会 議事要旨

開催日時:平成23年7月7日(木) 13:00~15:00

開催場所:財団法人 JKA 4A・B会議室

出席者(委員)大山永昭(委員長)、岡俊子、梶川陽二、金子聰、鴨志田晃、  
高千穂安長、中原秀樹、丹羽富士雄、野坂雅一、藤本浩志、吉岡忍  
(五十音順・敬称略)

(事務局)笹部俊雄、竹内紀文、宮田昌之、池田稔、佐藤弘和

[議題]

1. 平成24年度補助方針(案) (募集要項案含む)について
2. 補助事業評価について(案)
3. その他

[審議結果]

1. 平成24年度補助方針(案)(募集要項案含む)については、原案通り承認された。
2. 補助事業評価について

平成24年度事前計画/自己評価書(案)については、一部修正を加えることとなり、委員長一任となった。その他は原案通り承認された。

[意見概要]

1. 補助方針について
  - ・ 復興支援補助の告知については、被災地でも周知する工夫が必要。
  - ・ 審査の流れとしては、先ず事務局側で「組織審査」と「要件審査」を終えたものを、審査委員が、「事業審査」を行うことが良いのでは。
  - ・ 事業審査シートの「継続の妥当性」を審査する上で、参照書類で担保できるかどうか疑問である。
  - ・ 事業者は「継続の妥当性」を記述するのではなく、「継続の必然性」を記述させるほうが適当ではないか。
  - ・ インターネット申請は、セキュリティをしっかりとすべきである。

## 2. 補助事業評価について

### ①事前計画/自己評価書

- ・ 「5. 補助事業の自己評価」の「事業全体の総括的感想」という部分について、「事業全体の意見・所感」という表現のほうが良いのではないか。
- ・ 「1. 申請事業者の事業実行の可能性」について、事業実施体制が分かるよう記述させるべきである。
- ・ 「3. 社会的課題と補助事業の目的」について、「社会的課題」と「補助事業の目的」の関係がわかりにくい。補助事業の目的を「直接的な目的」とし、その先にある社会的課題の解決、改善を「間接的な目的」として、再整理してはどうか。
- ・ 申請者の記述内容によっては、良い事業が伝わってこない場合もあり、そのばらつきを抑えるため、記述する内容に関するガイドラインを設けてはどうか。
- ・ 公平な審査を確保するため、申請者側の意志に基づいて記述させることを基本とすべきである。
- ・ ある程度、審査する内容に不足が生じないように、申請フォームも工夫すべきである。

### ②JKA一次評価について

- ・ JKA一次評価を行う際、最終アウトプットとしての良否だけで判断するのではなく、そこに至るまでの反省や改善等、プロセスの評価を加えるなどの配慮が必要である。
- ・ 補助事業結果によっては、JKA一次評価結果を反映させ、改善へ結びつける工夫が必要ではないか。

(意見は順不同)

\*本議事要旨は、(財)JKA事務局が作成